



第 3 1 号
平成 1 8 年
6 月 発 行

回想法の効果について

音も色も匂いも味も、そして温もりにも思い出が…

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

「回想」 辞書を紐解くと「過去のことを思いめぐらすこと。かつて経験したことを次々に思い出すこと」と記載されています。最近、老人の認知症の治療に効果があるという「回想法」が話題になっていきます。認知症の老人と昔話をすると、症状が好転し、表情が生き生きしてくるのが観察されるのは、誰もが経験済みのことと思います。

この「回想法」は認知症のお年寄りだけでなく、もの忘れがはじめた中高年にとっても大変有効なのが心の回想法なのです。年をとると記憶力は衰えますが、回想力はむしろ増大するのです。

ところで、回想するには何かのきつかけが必要です。先日、小生の生まれ故郷（久ノ浜町）で地域の民生委員の方々が、地元の高老夫婦を招いて昔の町並み風情について聴く会を開き、その内容の一部始終が地元の紙上に掲載されました。小生ばかりでなく記事を読まれた読者も居られた事と思います。自分の生まれた町の景色の移り変わりが一瞬走馬灯のごとく浮かび上がりました。

かつて住んでいた土地を訪ねることも有力な回想法かもしれませんが、何十年前前の思い出の町は、徐々に変貌し、昔のたたずまいは失われつつあるかもしれません。しかし、かつて住んでいた町の地図や、住んでいた家の間取図を描いてみるのもいいでしょう。年配の方々の話を聴いたり、昔使っていたことのある家具類・生活用品『たらい・卓袱台・かまど・井戸・等々』が記憶を呼び覚ます有力な小道具でもあったり



いわき市平北白土にある。「菖蒲園」では、菖蒲が見頃を迎えています。この「菖蒲園」は個人の農家の方が水田に沢山の菖蒲を栽培しており、一般の方でも無料で観賞する事が出来ます。現在では噂を聞きつけて毎日多くの方が来ているそうです。また観賞用に椅子も設置して下さっており、ゆっくりと腰をおろして見る事が出来ます。皆様も是非行って見て下さい。

します。また、一昔前まで生活の場に欠かせなかった火鉢や囲炉裏は、この家でも家族の集まる座敷にあったものです。それらは、ほかの暖房具と違って、暖かい火の色が見え、寄ってきた人達が互いに手をかざし合ったものです。火鉢や囲炉裏に鉄瓶を掛け、その火力でチンチンと音を立てながら煮立つたお湯でいれたお茶、あみ渡しを使って焼いた少し焦げ目のある餅や魚の味は実に美味しかったものです。

思い出には、音も色も匂いも味もそして温もりもあるのです。一つ一つの思い出が次々と懐かしい記憶を呼び起こすのです。

職員は望洋荘に住む方々から親身になって思い出の語りを聴くひと時を、沢山作ってください。豊間の磯の潮騒が心地よく多くの方々の心を和ませ、遠い日の思い出を誘い出してくれて豊かな表情になることでしょう。

「菖蒲見学」に行ってきました。

六月二〇日より数回に分けて、平北白土にある「菖蒲園」を見学に行きました。ちょうど見頃で多くの人が見学に来ていました。

この「菖蒲園」は個人の農家の方が、自分の水田に沢山の菖蒲を栽培しており、無料で見学させて頂けるところです。また、菖蒲の他にも野菜(きゅうり・トマト・トウモロコシ・なす等)も広く栽培しており、野菜も素晴らしい美味しそうでした。中には菖蒲そっちのけで野菜ばかり見ている入居者様も居られました。

綺麗な菖蒲を見学させて頂きありがとうございました。



「菖蒲園」までの地図



ここが菖蒲園です

「中庭」にお花の苗を植えました。

六月十七日(土)午前、施設の中央にある中庭に、色とりどりのパンジーの花苗を百本植えました。数名の入居者様にお手伝いを戴き、一時間くらいの時間で何とか植え終えました。

これから夏に掛けて、綺麗な花を咲かせてくれると思います。是非 御来荘の際は二見ヶ浦通りの廊下から中庭をご覧ください。



「いわき寄席」出演者の色紙集から

今月は先月号に引続き春風亭正朝師匠その です。

春風亭 正朝師匠の作品です。(その)

第四一回記念いわき寄席 平成八年六月十七日

(演目) 祇園祭、唾の釣、明烏

第五六回記念いわき寄席 平成十一年五月二六日

(演目) 代りめ、宮戸川、火焰太鼓

第八四回記念いわき寄席 平成十六年一月二〇日

(演目) 家見舞、宗論、恪気の火の玉



99.5.26.

春風亭 正朝 師匠
(第 45 回いわき寄席 H11.5.26)
仲よき事は
美しいとは
言い切れない



99.5.26.

春風亭 正朝 師匠
(第 45 回いわき寄席 H11.5.26)
聴き上手が
上手な落語家を
育てる



99.5.26.

春風亭 正朝 師匠
(第 45 回いわき寄席 H11.5.26)
噺家は
笑わずまでに
うんと無き

愛は 落語を 救う



99.5.26.

春風亭 正朝 師匠
(第 45 回いわき寄席 H11.5.26)
愛は
落語を
救う

愛は 地球を 救う わげがない



春風亭 正朝 師匠
(第 41 回いわき寄席 H8.6.17)
愛は
地球を救う
わけがない

鯨より 落語を 救おう



春風亭 正朝 師匠
(第 41 回いわき寄席 H8.6.17)
鯨より
落語を
救おう

笑門 来福



春風亭 正朝 師匠
(第 84 回いわき寄席 H16.1.20)
笑門 来福

いつまでも あると思うな 人気と仕事 無いと思うな スキャンダル



春風亭 正朝 師匠
(第 84 回いわき寄席 H16.1.20)
いつまでも あると思うな
人気と仕事
無いと思うな スキャンダル

「新施設長」就任のごあいさつ

施設長に就任するにあたって



介護老人福祉施設 望洋荘
施設長 須田 美保子

開設よりご尽力戴いた吉田裕子施設長が、平成十八年五月三十一日付で勇退され、この度、六月一日より施設長に私が就任する事になりました。よろしくお願い致します。

平成一五年十二月に介護老人福祉施設「望洋荘」開設時から、吉田様には初代施設長として就任され、発足時の多事多難の二年余の長きに亘り基礎作りにご活躍をいただきありがとうございます。当時、施設長として職員に、『ここで生活することになるお年寄りの方々のお世話をする事が私達の仕事です。』お世話をしているのではなく、『させて頂く』この気持ちが大切です。相手を尊敬する事が大事なのです。』と訓示されました。吉田様の後を引き継ぐにあたって、身の引き締まる思いと同時に不安が一杯です。職員をはじめ職場をとりまく皆様の御支援御助力をいただきながら役務を全うしたいと存じますのでよろしくお願い致します。

今回、介護保険法の改正や障害者自立支援法の

制定で、介護予防からリハビリテーション、看取りなど、利用者様の状況に応じた介護サービスの提供が必要になっていくことが指摘されました。認知症の増加や、障害者への対応など、従来の身体介護だけでは対応できないニーズが増大しているとし、入浴、排泄、食事の「三大介護」中心から、心理的、社会的なケアを含む全人的な対応への切り替えを求めています。

福祉施設を維持していくにあたって、利用者様の介護保険費用自己負担の問題、施設内での食生活の見直し、ユニット内、或いはユニット間での交流、各種行事の再検討、職員の研修参加とともに施設内での勉強会および各委員会の充実、等々を再検討しながら、利用者様に喜ばれるような施設運営を職員一同一体になって目指したいとおもっています。

前施設長が築いてくれた「笑顔と優しさが介護の基本」をモットーとしている『望洋荘』に今後とも皆様の暖かい御支援をお願い致します。

「負担限度額認定証」の更新について

昨年一〇月に行われた介護保険法改正に伴い、施設介護サービス料の二割負担のほかに、食事代と居住費が全額自己負担となりました。ただし、年間所得二六六万円以下の世帯（市県民税非課税世帯）の方については、個人が負担する金額に限度額が設定されています。個々の負担限度金額を

決定するのは、所轄の市町村であり、減額を認められた方には、市町村長より「負担限度額認定証」が発行されます。

この「負担限度額認定証」の有効期限が六月三十日ですので、今度更新の手続きが必要となっています。現在入所されている入居者様の更新手続きは、昨年同様施設でまとめて行いますが、市町村より出された結果については、個々の平成一七年度世帯所得に対して判定されており、直接所轄の市町村役所「長寿介護課」等にお問合せください。

今月の言葉その（倫理研究所編纂語集から）

当たり前前のことに磨きを

「凡事徹底」という。挨拶・返事・後始末といった、ごく当たり前のことでも徹底して取り組めば周囲が変わり、人生が変わる。まずは三カ月、心を込めて取り組んでみよう。

編集後記

『望洋荘』便り
平成十八年六月一日発行
発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55 7373

FAX (0246) 55 7255